

The MOST
MUSIC FESTIVAL
2023

モーツァルト
フィガロの結婚

ベートーヴェン
トリプルコンチェルト

モーツァルト
交響曲第35番 K.385「ハフナー」

出演
The MOST / 岡山フィルハーモニック管弦楽団

The MOST MUSIC FESTIVAL 2023 GALA CONCERT

The MOST
MUSIC FESTIVAL 2023
ガラ・コンサート

ソリスト
福田廉之介 Violin
松本和将 Piano
佐藤晴真 Cello

2023.2.26 [日] 開演15:00 開場14:00 岡山シンフォニーホール大ホール

S席¥5,000 A席¥4,000 B席¥3,000 | 友の会・TheMOST一般会員料金：S席¥4,500 A席¥3,600 B席¥2,700

チケット取扱い

- ◇ The MOST事務局 themost.reservations@gmail.com
- ◇ 岡山シンフォニーホールチケットセンター 086-234-2010
- ◇ ぎんざやプレイガイド 086-222-3244



Violin 福田 廉之介

1999年岡山県生まれ。2013年クロスター・センター国際バイオリンコンクールジュニア部門優勝。併せて全部門出場者中の最高得点奏者に贈られるFörderpreis賞を受賞。2014年ユーディ・メニューイン国際コンクールジュニア部門優勝。2017年ハイフェッツ国際ヴァイオリンコンクール3位。ヴァルセミア・ムジカ国際ヴァイオリンコンクール優勝。2018年ハノーファー国際コンクール4位。7歳より大阪フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団、クリーヴランド管弦楽団、ロンドンフィルハーモニー管弦楽団、モスクワフィルハーモニー管弦楽団、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、ルーマニア国立放送管弦楽団、北チェコフィルハーモニー管弦楽団など多数のオーケストラと共演。2010年、2013年、岡山県芸術文化賞準グランプリ、2014年、赤磐市長特別奨励賞を授与される。2017年、イヴリー・ギトリス氏より世界で活躍する若手ヴァイオリニストに贈られるIvry Gitlis Prizeを受賞。同年、スイスのRahn Kulturfondsから奨学金を授与される。2019年、2020年度、スイス Migros奨学生。2021年、山陽新聞奨励賞受賞。シオンの音楽学校をわずか1年で首席卒業し、2016年よりローザンヌ高等音楽院に飛び級入学。これまでに、河野園子、工藤千博、小栗まち絵、漆原啓子、パヴェル・ヴェルニコフ、スヴェトラナ・マカロバの各氏に師事。現在ローザンヌ高等音楽院修士課程にて、ジャンヌ・ヤンセン氏に師事。2020年1月、日本コロムビアよりCD「プロコフィエフ:ヴァイオリン・ソナタ第2番」をリリース。同年、一般社団法人The MOSTを立ち上げ理事長を務める。使用楽器は1773年製ニコロ・ガリアーノ。



Piano 松本 和将

日本音楽コンクール優勝、全賞を受賞。ブゾーニ国際ピアノコンクール第4位、エリザベト王妃国際音楽コンクール第5位入賞。これまでにブラハ交響楽団、ブラハフィル、ベルギー国立オーケストラ、読売日響、日本フィル、新日本フィル、東京交響楽団、東京フィルなど、多くのオーケストラと共演。2016年より「松本和将の世界音楽遺産」と名付けたリサイタルシリーズを開始、リサイタルシリーズ「松本和将の世界音楽遺産」では1年間一つのコンセプトを掘り下げることによって他の追随を許さない高度に凝縮された音空間を達成している。室内楽にも積極的に取り組み、イザベル・ファウスト、前橋汀子、宮本文昭、漆原啓子、長谷川陽子、藤木大地、三浦一馬、塩谷哲などと多くの名演奏家と共演。上里はな子、向井航とピアノトリオを結成し全国ツアーやオーケストラとの共演を重ねるほか、室内楽に特化した「愛知カンマムジークアカデミー」を創設し室内楽の普及と人材の育成に努める。これまでに2枚のレコード芸術特選盤(「展覧会の絵」「後期ロマン派名曲集」)を含む23枚のCDをリリース。名古屋音大ピアノ演奏家コース客員准教授、東京音楽大学講師として、後進の指導にもあたっている。公式HP: <http://www.kaz-matsumoto.com> ツイッター: @kazmatsuki YouTubeチャンネル: <https://onl.bz/1w2GHwM>



Cello 佐藤 晴真

実力・人気を兼ね備えた若い世代を代表するチェリスト。2019年、長い伝統と権威を誇るミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めた。18年には、ルトスワフスキ国際チェロ・コンクールにおいて第1位および特別賞を受賞している。ほかにも全日本学生音楽コンクール第1位および日本放送協会賞、日本音楽コンクール第1位および徳永賞・黒柳賞、ドメニコ・ガブリエリ・チェロコンクール第1位、アリオン桐朋音楽賞など、多数の受賞歴を誇る。バイエルン放送響をはじめ国内外のオーケストラと共演を重ねており、室内楽公演などにも出演して好評を博している。テレビ、ラジオ番組にもたびたび出演。18年、ワルシャワにて「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に出演。19年には、本格デビューとなるリサイタル公演を成功裡に終える。20年11月には、名門ドイツ・グラモフォンよりデビューアルバムとなる『The Senses〜ブラームス作品集〜』をリリースし、第13回CDショップ大賞2021クラシック賞を受賞。21年11月には、セカンド・アルバム『SOUVENIR〜ドビュッシー&フランク作品集』をリリース。これまでに、林良一、山崎伸子、中木健二の各氏に師事。現在は、ベルリン芸術大学にてイエンス=ペーター・マイッツ氏に師事している。13年東京都北区民文化奨励賞受賞。15年ヤマハ音楽振興財団奨学生。16年度東京藝術大学宗次特待奨学生。18年ロームミュージックファンデーション奨学生。20年、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞受賞。21年度文化庁長官表彰に選出。22年、第32回日本製鉄音楽賞受賞。使用楽器は宗次コレクションより貸与されたE.ロッカ1903年。



岡山フィルハーモニック管弦楽団

岡山フィルハーモニック管弦楽団は、岡山にゆかりのあるメンバーを中心に優れた演奏者で構成されたプロオーケストラで、岡山シンフォニーホールの完成を機に1992年に設立。国内外の著名な指揮者・ソリストを迎えて開催する定期演奏会をはじめ、スクールコンサート、音楽鑑賞会、ファミリーコンサート、依頼公演等、各地で数多くの演奏活動を実施し、地域に根ざしたオーケストラとして、音楽芸術普及・向上のために積極的に活動している。2013年4月より元ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席オーボエ奏者にして指揮者でもあるハンスイェルク・シェレンベルガー氏を首席指揮者に迎え、岡フィル強化に取り組んできた。2022年4月からは秋山和慶がミュージック・アドヴァイザーに就任、一層の飛躍を図る。今後も岡山独自の音楽スタイルをもつ「おらがまちのオーケストラ」として皆様から誇りと愛情をいただける楽団へと成長すべく挑戦を続けている。